平成２９年度（平成２８年度対象）

亀岡市教育委員会
点検･評価報告書

平成２９年９月

亀岡市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定に基づき、平成２８年度事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いました。

御一読いただき、亀岡市教育委員会の取組について、御意見等をお寄せください。

亀岡市教育委員会では、将来を展望し、中長期的な視点に立って地域の実情に合った教育活動をより効果的に実施していくため、目指すべき教育の基本的な方向性や重点施策を明らかにした「亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～」を策定しています。毎年度、各施策の進捗状況を把握するとともに、施策による成果や課題などを検証し、その結果を施策の展開に反映させながら継続的な推進を図ります。

「ともに学び　ともに育ち　ともに生きる　かめおか教育の創造」を基本理念として、めざす子ども像を「ほっかほか心　ふるさと大好き　かめおかっ子」と掲げ、子どもたちが、学校・地域・家庭のあたたかな見守りの中で包み込まれるという感覚を実感でき、ふるさとを愛し、人を思いやる心を育む教育を推進してまいります。

平成２９年９月

亀岡市教育委員会

教育委員会委員名簿

職　名	氏　名
教育長	田 中　太 郎
教育長職務代理者	関　　吉 廣
委　　員	吉 岡　眞知子
委　　員	江 口　昌 道
委　　員	若 本　夏 美

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目　　次

１　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁

２　会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁

３　平成２８年度教育委員会活動の概要・・・・・・・・・・・・・　６頁

４　その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10頁

５　亀岡市教育振興基本計画平成２８年度推進施策・・・・・・　11頁

６　推進施策に係る取組状況評価

（１）点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15頁
（２）点検・評価結果の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15頁
（３）総合評価の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16頁

７　数値目標事業の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17頁

８　施策別評価
　1 「生きる力」の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18頁
　2 ふるさとを愛する心の育成・・・・・・・・・・・・・・・・　22頁
　3 学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進・・・　24頁
　4 安全・安心で充実した教育環境の整備・・　・・・・・・　28頁
　5 生涯学習活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30頁
　6 歴史・文化・自然の保存継承と発信・・・・・・・・・・　34頁

資　料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36頁

１　はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定に基づき、平成２８年度の教育委員会活動を振り返るとともに、本市教育委員会が毎年度示す「亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～平成２８年度推進施策」を基に、具体的な推進施策について教育委員会が事務の進捗状況について点検・評価を行いました。

２　会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月１回「教育委員会定例会」を、また、必要に応じて臨時会を開催したほか、事前協議等のため教育委員協議会を次のとおり開催しました。

会議名	日時	付議案件等
教育委員会 （臨時）	H28.4.4(月) 11:00～11:30	（第１号議案） 亀岡市教育委員会教育長職務代理者の選任について （その他） 平成２８年度亀岡市教育委員会校園長会議(第１回)の出席について 入学式の出席について
教育委員会 （定例）	H28.4.26(火) 15:30～16:15	（報告事項） 亀岡市立幼稚園条例の一部改正について 亀岡市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について 生徒指導上の問題事象について 平成２８年度国・府等の研究等指定（委託）事業について 訪問型家庭教育支援事業について 平成２８年度管内小・中学校・幼稚園計画訪問について コミュニティ・スクール導入等促進事業の実施について 平成２８・２９年度南丹地区教科用図書採択協議会事務局について 放課後児童会学年初めにおける受入れ状況について 亀岡市人権啓発推進協議会人権教育指導員の委嘱について 平成２８年５月教職員研修講座のお知らせについて サイエンスフレンズ学習クラブ（募集）について 文化資料館平成２８年度事業等について （その他） 亀岡市文化財調査報告書第９０集について
教育委員会 （定例）	H28.5.25(水) 9:00～10:40	（第２号議案） 亀岡市社会教育委員の委嘱について （報告事項） 亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会について 平成２７年度公立中学校卒業生徒の進路状況について 平成２８年度「人権教育講座」「人権教育指導者研修会」について 平成２８年度「高齢者さわやか教室」について 平成２８年６月教職員研修講座のお知らせについて 夏休み親子で理科探究応援教室（募集）について

教育委員会 （定例）	H28.6.28(火) 15:30～16:45	（第３号議案） 亀岡市図書館協議会委員の委嘱について （第４号議案） 第２６期亀岡市文化財保護委員会委員の委嘱について （報告事項） 学校規模適正化地域別推進協議会及びブロック協議会について 平成２８年度京都府小中学校学力診断テスト結果について 平成２８年度家庭教育支援事業の実施について 放課後児童会入会児童保護者アンケートの実施について 亀岡市社会教育委員について 文化資料館　第６１回企画展について 保津川の歴史を探る筏流しに関する事業について 平成２８年度７月８月の教職員研修講座について （その他） 平成２８年度第１回教育委員会委員学校訪問について 平成２８年度地域こん談会の日程について
教育委員 協 議 会	H28.6.28(火) 16:45～17:15	（協議事項） 亀岡市立学校小規模特認校実施について
教育委員 協 議 会	H28.7.25(月) 15:00～17:00	（協議事項） 教育委員会施策の点検・評価（案）について
教育委員会 （定例）	H28.7.26(火) 15:30～16:50	（第５号議案） 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の原案決定について （報告事項 亀岡市学校規模適正化の中間報告について 平成２８年度運動会・体育祭の日程及び出席者（案）について 地域ふれあいサイエンスフェスタ サイエンスボランティアの募集について （その他） 平成２８年９月亀岡市議会定例会日程(案)について 亀岡市立図書館年報（平成２７年度）について 文化資料館第６０回企画展『季節の楽しみ―行事食と暮らしの道具―』展示会図録について 文化資料館第６１回企画展「中川小十郎―馬路村から立命館創立者へ―」について
教育委員会 点検・評価 会議	H28.8.10(水) 9:30～12:00	（会議） 平成２８年度（平成２７年度対象）亀岡市教育委員会点検・評価報告書（案）について（外部有識者による意見・助言）
教育委員会 （定例）	H28.8.22(月) 15:00～16:40	（第６号議案） 平成２８年度亀岡市教育委員会点検･評価報告書の策定について （第７号議案） 平成２９年度使用小学校教科用図書の採択について （第８号議案） 平成２９年度使用中学校教科用図書の採択について （第９号議案） 平成２９年度使用教科用図書（特別支援学級用）の採択について （第１０号議案） 亀岡市文化財保護条例の一部を改正する条例の原案決定について （報告事項） 平成２８年度一般会計９月補正予算案について 小学校長・中学校長・幼稚園長との懇談会の開催について 亀岡市立学校小規模特認校制度に関する要綱の制定について ALT（外国語指導助手）の交代等について

		いじめ調査の状況について １学期の生徒指導の問題事象の状況について 「いかだに乗ってみよう！」イベント等について 平成２８年度９月教職員研修講座のお知らせ （その他） 平成２８年度南丹教育委員会連絡協議会視察の日程調整について 平成２８年度運動会・体育祭日程及び出席者予定者について
教育委員会 （定例）	H28.9.27(火) 16:00～17:10	（報告事項） 亀岡市教育委員会点検・評価報告書の公表について 亀岡市議会９月定例会一般質問・答弁要旨について 亀岡市小学校児童陸上運動交歓記録会について 口丹波中学校駅伝競走大会兼京都府大会予選について 平成２８年度亀岡市小・中学校研究発表会について 第３４回亀岡市女性集会の開催について 平成２８年１０月、１１月教職員研修講座について 地域ふれあいサイエンスフェスタ２０１６について 川東地域図書館の開館について （その他） 平成２８年度近畿市町村教育委員会研修大会について
教育委員 協 議 会	H28.9.27(火) 17:10～17:40	（協議事項） 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果について
教育委員会 （定例）	H28.10.28(金) 13:30～15:10	（第１１号議案） 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例施行規則の一部改正について （第１２号議案） 亀岡市立義務教育学校設置条例の制定について （第１３号議案） 亀岡市立義務教育学校設置条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について （報告事項） 平成２９年度予算編成方針について 口丹波中学校駅伝競走大会の結果について 第４７回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場者について 亀岡市小学生駅伝（持久走）大会の開催について 南丹地区小学校駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」の開催について 亀岡市文化財保護条例施行規則の一部改正について 文化資料館第３２回特別展等について 平成２８年１２月教職員研修講座について （その他） 亀岡市議会１２月定例会の日程について 平成２８年度南丹教育委員会連絡協議会視察研修会について 「かめおかっこ夢・未来読書フェスティバル」について
教育委員 協 議 会	H28.10.28(金) 15:10～16:00	（協議事項） 平成 28 年度　亀岡市中学校３年生進路希望状況について 亀岡市中学校給食のあり方について

教育委員 協 議 会	H28.11.29(火) 15:00～16:20	(第１４号議案) 亀岡市文化資料館協議会設置要綱の制定について (報告事項) 平成２８年度一般会計１２月補正予算案について 亀岡市学校規模適正化に係る状況報告について 京都府中学校駅伝競走大会の結果について 亀岡市小学生駅伝（持久走）大会の結果について 第１２回南丹地区小学校駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」の結果について 平成２８年度「いじめ根絶月間」の取組み結果について 平成２９年亀岡市成人式について 亀岡市文化資料館友の会サークル体験会について 平成２９年１月教職員研修講座について (その他) 平成２８年度 第２回教育委員会委員学校訪問について
教育委員 協 議 会	H28.11.29(火) 16:20～17:20	(協議事項) 亀岡市中学校給食のあり方に係る基本方針（案）について う蝕予防フッ化物洗口剤について
教育委員会 (定例)	H28.12.20(火) 15:00～16:40	(第１５号議案) 亀岡市未指定文化財の指定について(諮問) (報告事項) 亀岡市議会１２月定例会一般質問・答弁要旨について 近畿中学校駅伝競走大会の結果について 「土曜日を活用した教育活動」について ふるさと体験学習事業“京都亀岡保津川下り”について 平成２９年亀岡市成人式について 出会い・発見・共生　人権を考える第３４回亀岡市女性集会開催結果について 平成２９年２月教職員研修講座について
教育委員 協 議 会	H28.12.20(火) 16:40～17:10	(協議事項) う蝕予防フッ化物洗口実施状況ついて 平成 28 年度京都府中学校学力診断テストについて
教育委員会 (定例)	H29.1.24(火) 15:00～16:30	(第１６号議案) 平成２９年度の亀岡市立小学校及び中学校における休業期間の変更について (報告事項) 亀岡川東学園「校歌」について 生徒指導上の問題事象（２学期のまとめ）について 小学校英語の教科化について 亀岡市中学校給食のあり方に係る基本方針（案）について 平成２８年度卒業式、平成２９年度入学式の日程等について 亀岡市中央公民館の除却について 史跡丹波国分寺跡附八幡神社跡の史跡追加指定について 亀岡市文化資料館協議会委員について 平成２９年３月教職員研修講座について (その他) 亀岡市議会３月定例会の日程について
教育委員 協 議 会	H29.1.24(火) 16:30～16:50	(協議事項) 平成 28 年度　亀岡市中学校３年生進路希望状況について
教育委員会 (臨時)	H29.2.21(火) 8:45～9:00	(第１７号議案) 亀岡市立小･中･義務教育学校校長の人事異動について (第１８号議案) 亀岡市立小･中･義務教育学校副校長･教頭の人事異動について

教育委員会 （定例）	H29.2.21(火) 9:00～10:45	（第１９号議案）　亀岡市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について（議決日から施行） （第２０号議案）　学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について （平成２９年４月１日施行） （第２１号議案）　亀岡市立小中学校ハラスメントの防止に関する要綱の一部を改正する　告示について（議決日から施行） （第２２号議案）　学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会告示の整備に関する告示の制定について （平成２９年４月１日施行） （報告事項） 亀岡市立の小学校及び中学校の副校長の専決等に関する規程の一部改正について（平成２９年４月１日施行） 亀岡市立の小学校及び中学校の副校長の専決等に関する規程の一部改正について（平成２９年１月１日施行） 亀岡市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について（平成２９年１月１日施行） 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会教育長訓令の整備に関する訓令の制定について （平成２９年４月１日施行） 平成２９年度教育委員会所管当初予算案の概要について 平成２８年度一般会計３月補正予算案について いじめ調査結果について ふるさと体験学習“京都亀岡保津川下り”申し込み状況について 「第３次亀岡市子どもの読書活動推進計画」策定について(素案) （その他） 平成２８年度卒業式・平成２９年度入学式の日程等について
教育委員会 （臨時）	H29.3.23(木) 18:00～18:20	（その他） 亀岡市教育委員会事務局・教育機関の管理職人事について
教育委員会 （定例）	H29.3.24(金) 14:00～15:50	（第２３号議案） 亀岡市教育委員会請願等処理規則について （第２４号議案） 亀岡市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則について （第２５号議案） 亀岡市立幼稚園条例の一部を改正する条例案要綱について （第２６号議案） 平成２９年度準教科書使用承認について （報告事項） 平成２９年度亀岡市立学校教職員の人事異動について 亀岡市議会３月定例会一般質問・答弁要旨について 「亀岡市いじめ防止対策推進委員会」及び「亀岡市いじめ問題対策連絡協議会」の開催について 児童生徒の健全育成に関する学校警察連絡制度について 平成２９年度放課後児童会の入会申請受付状況について 平成２８年度社会教育・人権教育事業実施報告について 「第１７回成人式大賞２０１７」貢献賞の受賞について 「第３次亀岡市子どもの読書活動推進計画」（案）について

○会議開催回数

教育委員会（定例）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２回
教育委員会（臨時）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３回
教育委員協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７回
教育委員会点検・評価会議・・・・・・・・・・・・・・・・１回
計　２３回

３　平成２８年度教育委員会活動の概要

（１）学校訪問（第１回）

実施日時　　平成２８年７月５日（火）
参 加 者　　教育長、教育委員会委員４名、事務局
訪 問 先　　畑野小学校、育親中学校
日　　程

訪問先・時間	内　　容
畑野小学校	・登校指導 ・職員朝礼 ・学校経営方針、教育課程、重点課題について ・授業参観 ・児童との給食
育親中学校	・学校経営方針、教育課程、重点課題について ・授業参観 ・ＰＴＡ会員との懇談

（２）学校訪問（第２回）

実施日時　　平成２８年１２月２日（金）
参 加 者　　教育長、教育委員会委員４名、事務局
訪 問 先　　曽我部小学校、南桑中学校
日　　程

訪問先・時間	内　　容
曽我部小学校	・登校指導 ・職員朝礼 ・学校経営方針、教育課程、重点課題について ・授業参観 ・児童との給食
南桑中学校	・学校経営方針、教育課程、重点課題について ・授業参観 ・進学指導参観 ・部活動参観

（３）亀岡市総合教育会議（第１回）

実 施 日　　平成２８年５月２３日（月）

出 席 者　　亀岡市長、副市長、教育長、教育委員会委員２名、事務局

協議事項　　・教育施策の重点事項について（意見交換）

① 学校規模適正化について

② 学校施設の空調機器の整備について

③ 中学校給食について

④ 中央公民館の運営について

（４）亀岡市総合教育会議（第２回）

実 施 日　　平成２８年１０月２９日（土）

出 席 者　　亀岡市長、副市長、教育長、教育委員会委員４名、事務局

協議事項　　・教育施策の重点事項について（意見交換）

① 学校規模適正化について

② 小規模特認校（東・西別院小学校）の状況について

③ 学校施設の整備について

④ 平成２８年度全国学力・学習状況調査の結果について

⑤ 中学校給食について

（５）亀岡市総合教育会議（第３回）

実 施 日　　平成２９年２月２１日（火）

出 席 者　　亀岡市長、教育長、教育委員会委員４名、事務局

協議事項　　・教育施策の重点事項について（意見交換）

① 小学校英語教育の導入について

② 教育研究所の現状と今後について

③ 亀岡川東学園の現状について

④ 学校規模適正化の取組について

⑤ 亀岡市教育大綱（亀岡市教育振興基本計画）について

（６）小学校長との懇談会

実 施 日　　平成２８年９月１日（木）

出 席 者　　市内小学校長１８名、教育長、教育委員会委員４名、事務局

懇談事項　　・小規模校の取組について

・人権教育の取組について

・小中一貫教育の取組について

（７）中学校長との懇談会

実 施 日　　平成２８年９月２日（金）
出 席 者　　市内中学校長８名、教育長、教育委員会委員４名、事務局
懇談事項　　・進路指導・学力向上について
・生徒指導について
・学校予算と施設について
・文化・スポーツについて

（８）幼稚園長との懇談会

実 施 日　　平成２８年９月２日（金）
出 席 者　　亀岡市立幼稚園長、副園長、教育長、教育委員会委員４名
事務局
懇談事項　　・公立幼稚園の現状について
１）幼稚園の取組について
２）子育て支援について

（９）各種研修等

①京都府市町村教育委員会連合会委員研修会（春）

実 施 日　　平成２８年５月２７日（金）
場　　所　　京都府総合教育センター
出 席 者　　教育委員会委員３名
内　　容　　（講演）演題「京都府の教育の現状と課題について」
講師　京都府教育庁　指導部長　川村　智 氏

②近畿市町村教育委員会研修大会

実 施 日　　平成２８年１０月２５日（火）
場　　所　　紀の川市粉河ふるさとセンター（和歌山県）
出 席 者　　教育委員会委員３名、事務局１名
内　　容　　（講演）演題「大学のもつ力を地域教育に活かすには」
講師　近畿大学生物理工学部 地域交流センター長
仁藤　伸昌 氏

③南丹教育委員会連絡協議会視察研修

実 施 日　　平成２８年１０月２９日（土）
場　　所　　京都府立清明高等学校、知恩院
出 席 者　　教育長、教育委員会委員３名、事務局１名
研修内容　　・学校の概要説明
・授業見学及び校内視察
・知恩院の概要説明
・半解体修理等の現場視察（屋根瓦葺等）

④京都府市町（組合）教育委員研修会

実 施 日　　平成２８年１１月２日（水）
場　　所　　京都テルサ
出 席 者　　教育長、教育委員会委員３名
内　　容　　（講演）演題「学校と地域の連携・協働について」

⑤市町村教育委員会研究協議会（第２ブロック）

実 施 日　　平成２８年１１月１７日（木）～１８日（金）
場　　所　　高知県民文化ホール、三翠園、高知会館
出 席 者　　教育委員会委員３名、事務局１名
内　　容　　（講演）演題
「チーム学校構想の背景とチーム学校づくりの課題」
講師　放送大学教養学部　教授　小川　正人
（パネルディスカッション）
「チーム学校～学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かってはばたく子どもたちの育成のために」
（事例発表・研究協議）
第１分科会「厳しい環境にある子どもたちへの支援」
第２分科会「校種間の線形・協働の推進」
第３分科会「防災教育について」

４　その他の活動

月	各種行事・大会等	
	亀岡市関係	国・府関係（場所）
４月	年度当初校園長会議 幼稚園入園式、小・中学校入学式	府立高等学校入学式（亀岡高校、南丹高校、農芸高校）
５月	会計検査院による会計実地検査 小・中学校修学旅行	南丹教育委員会連絡協議会総会（南丹市） 京都府市町村教育委員会連合会定期総会（京都市）
６月	市議会６月定例会（本会議、一般質問） 第１回亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会 中学校給食のあり方検討委員会	
７月	平和祭市民スポーツ大会総合開会式 社会を明るくする運動市民中央集会	
８月	亀岡市平和祈念式典 人権教育研究会研究大会	
９月	市議会９月定例会（本会議、一般質問） 幼稚園・小学校運動会、中学校体育祭 亀岡市戦没者追悼式 石田梅岩墓前祭	
１０月	小学校児童陸上運動交歓記録会 東・西別院小学校特認校説明会 亀岡市立亀岡川東学園竣工式	
１１月	亀岡市自治振興式典 地域ふれあいサイエンスフェスタ2016	
１２月	市議会１２月定例会（本会議、一般質問）	
１月	新春年賀交歓会 亀岡市成人式	
２月	亀岡市スポーツ賞表彰式	
３月	市議会３月定例会（本会議、一般質問） 幼稚園修了式、小・中学校修了式 小・中学校卒業証書授与式 幼稚園卒園証書授与式	府立高等学校卒業式（亀岡高校、南丹高校、農芸高校）

５　亀岡市教育振興基本計画平成２８年度推進施策

１　「生きる力」の育成

（１）確かな学力、学ぶ意欲の向上
①生きる力を育む開かれた魅力ある学校・園づくりの推進
②学力診断テスト等の活用と基礎学力定着の効果的な取組の推進
③土曜日を活用した教育活動の推進
④ＡＬＴ(英語指導助手)による外国語活動の推進
⑤小学校専科（音楽・図工）指導の推進
⑥キャリア教育の具体化等、進路指導に関わる取組の充実
⑦教育に関する研究活動の推進

（２）就学前教育の推進
①保育所（園）及び幼稚園と小学校との連携の推進
②特別な支援が必要な園児に対する適切な指導体制の確立と教育相談の充実
③幼児発達支援事業の推進

（３）健康教育・安全教育の充実
①計画的な保健指導と安全指導の実施と充実・推進
②食に関する指導の充実
③フッ化物洗口によるむし歯予防事業（幼稚園・小学校）の推進
④喫煙・薬物乱用防止教育及び性教育の推進
⑤児童生徒の健康診断等の実施
⑥健康・予防教育の推進

（４）体力・競技力の向上
①幼児・児童生徒の体力・運動能力向上の取組推進
②小・中学校の各種競技会への支援
③小・中学校体育連盟活動の推進
④幼稚園、小学校、中学校、高等学校の校種間連携の充実

（５）特別支援教育の充実
①校内体制の充実・推進及び児童生徒の実態把握の充実
②関係諸機関、校種間連携による指導・支援の充実
③交流及び共同学習の推進（特別支援学校・特別支援学級等）
④就学相談と進路指導の充実
⑤特別支援教育支援員による支援体制の充実
⑥保護者及び地域社会への啓発の充実

（６）人権教育の推進
①児童生徒の基礎学力充実と進路保障及び主体的に進路選択できる力の育成
②教育活動全体を通した計画的な人権教育の推進
③人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の充実
④日常的・継続的な家庭・地域社会、関係機関及び校種間連携の推進

（７）生徒指導、教育相談の充実
①亀岡市いじめ防止基本方針に基づく対策・対応の推進
②教育相談事業の充実(研)
③スクールカウンセラー活用事業の推進
④生徒指導上の問題行動に対する指導体制の充実とスクールサポーターの活用の推進
⑤不登校対策支援員による支援体制の充実
⑥児童虐待の早期発見及び関係機関と連携した早期対応

（８）今日的な課題に応える教育の充実
①国際理解教育の推進
②教育用コンピュータ等の有効な活用の推進
③情報活用能力に関する指導の充実
④実践的な環境教育の推進
⑤体験活動を重視した小・中学生の道徳教育の充実

２　ふるさとを愛する心の育成

（１）体験的活動の推進
①ＫＹＯ発見 仕事文化体験活動推進事業などによる学習活動の充実
②地球環境子ども村、ＮＰＯ等と連携した環境学習・体験学習の推進
③児童生徒によるボランティア活動の推進
④亀岡の地域資源を活用したふるさと学習「かめおか学」の推進
⑤地域ふれあいサイエンスフェスタの充実

（２）豊かな感性を育む教育の推進
①亀岡市学校美術展覧会の開催
②市立幼稚園子ども展の開催
③文化芸術による子どもの育成事業などによる演劇やミュージカル等の鑑賞機会の提供
④児童生徒の読書習慣や読書意欲の向上

（３）地域の教育機能の活用
①学校評価等を活用した開かれた学校づくりの推進
②自然や歴史、伝統文化などの地域学習やクラブ活動における地域人材の活用の推進
③学校支援地域本部事業の推進

３　学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進

（１）小中一貫教育の推進
①施設一体型及び地域連携型小中一貫教育の推進

（２）学校規模適正化の検討
①学校規模適正化基本方針に基づく適正化の推進

（３）教員の資質・能力の向上
①各種研修会の充実と校内研究、研修による指導方法の工夫・改善への支援
②研究指定事業を活用した学校力の向上、教員の資質能力の向上

（４）教育研究所事業の充実
①学力向上に向けての具体的な方途の開発・発信
②適応指導教室、心の居場所事業の充実
③教育課題に対応した教職員研修講座の充実
④保護者や教職員等への教育相談事業の充実
⑤特別支援教育・教育相談など学校現場のニーズに対応する研修の充実
⑥幼児・児童生徒の学習活動支援及び保幼小中連携の推進
⑦今日的な教育課題に応える調査研究活動の推進
⑧問題を抱える児童生徒の学校不適応状況改善に向けた調査研究活動の推進

４　安全安心で充実した教育環境の整備

（１）安全・安心で快適な教育環境の整備
①学校・園施設の老朽箇所等の計画的な整備の推進
②学校施設・設備の日常的な点検活動の実施
③快適な教育環境の整備の推進

（２）　安全指導、安全管理の充実
①学校安全対策委員会を中心に自治会・ＰＴＡ等と連携した学校安全体制の充実
②学校安全対策協力員の配置と地域の見守り隊等の協力による安全対策の推進
③通学安全対策の充実及び学校安全マップの定期的な見直しと活用
④「地域子ども出迎えデー」の推進と学校安全メールシステムの活用促進
⑤インターナショナル・セーフスクールの推進
⑥危機管理マニュアルに基づく安全体制の確立と研修・訓練の計画的な実施

（３）学校図書、学習教材・資機材の充実
①学校図書館図書蔵書数の標準冊数達成に向けた蔵書数の充実
②理科・数学の学習教材・資機材の充実
③教育の情報化に向けた学習資機材の充実

（４）学校給食の充実
①地元産食材の利用推進と、安全・安心で栄養バランスに配慮した給食の提供
②給食及び各家庭に配布している広報紙「きゅうしょくだより」・「よていこんだて」を通じた食育を推進
③「きゅうしょくカレンダー」を教材とした食育の推進
④食物アレルギーを有する児童への、学校給食センター・学校・保護者との連携強化
⑤中学校給食のあり方についての検討

（５）就学・修学への支援
①経済的に就学困難な小・中学生への援助費の支給
②高校生・大学生を対象とした奨学金の支給
③私立幼稚園就園奨励費等補助金の支給

５　生涯学習活動の推進

（１）人権教育・人権学習の推進
①人権教育講座、人権教育指導者研修会、女性集会等の実施
②自主的な人権学習活動への支援など

（２）家庭教育への支援
①家庭教育支援事業(子育て・親育ち講座)、参加型家庭教育研修会の充実

（３）子どもの健全育成の推進
①青少年育成団体との連携による子どもの健全育成の推進
②子ども「心の教育」推進事業の充実
③成人式開催による青少年健全育成の推進
④放課後児童健全育成事業における保育内容の充実と環境整備の推進

（４）市民の学習活動の推進
①高齢者さわやか教室の充実
②生涯学習関係機関・団体との連携による学習機会や学習情報の提供
③公民館サークル活動への支援

（５）読書活動の充実
①図書館蔵書の充実による市民読書の推進
②「かめおかっこ夢・未来読書プラン」に基づく子ども読書活動の推進
③読書ボランティアの養成と支援

（６）生涯スポーツの推進
①体育協会や関係機関と連携した生涯スポーツ推進の支援

６　歴史・文化・自然の保存継承と発信

（１）文化財の保存と活用
　史跡丹波国分寺跡史跡公園整備の推進
　歴史的・文化的景観の保全と活用の推進

（２）歴史・文化・自然を学ぶ拠点の整備
　①文化資料館での特別展・企画展・ロビー展の開催充実
　②子ども歴史教室の充実
　③文化資料館友の会の連携事業の充実
　④出前講座・授業による学習活動への支援
　⑤新資料館建設実現へのプロセスの検討

６　推進施策に係る取組状況評価

（１）点検・評価の方法

亀岡市教育委員会事務の点検・評価の実施に関する要綱（平成２１年亀岡市教育委員会告示第２号）に基づき、点検・評価を行いました。

点検・評価は、対象施策・事業の内容と成果を明らかにするとともに、課題と改善策、今後の方向性等を示しています。また、教育に関し学識経験を有する方の協力を得て、８月３日（木）に点検・評価会議を開催しました。意見等をいただいた学識経験者は、次のとおりです。

（敬称略）

氏　名	所　　属
出口　眞人	社会福祉法人愛善信光会亀岡保育園理事長
吉中　康子	京都学園大学経済経営学部教授
廣瀬　義直	千歳町自治会長、元小学校長

（２）点検・評価結果の構成

①評価対象

「亀岡市教育振興基本計画平成２８年度推進施策」２８項目のうち教育委員会で選定した９項目

②目指す姿・目的

各施策の実施目的や取組の方向性を記載しています。

③実施事業の内容・成果

各施策の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、教育上効果があった内容等を記載しています。

④点検項目・課題

実施施策について、「必要性」、「有効性」、「効率性」の視点から分析を行い、課題を記載しています。

⑤改善策・内部評価・今後の方向性

実施施策について、課題の解決に向けた改善策を示し、上記の３つの点検項目ごとの達成度に応じて１～３点の点数を付与し、その合計点数によりＡ～Ｃの３段階評価を行っています。また、次年度事業実施の方向性を記載しています。

○達成度による点数の付与

・達成度が高い場合　　３点
・達成度がやや高い場合　　２点
・達成度が低い場合　　１点

○合計点数による評価

各点検評価項目の合計点数	８点以上	７点～５点	４点以下
総合評価	A	B	C
事業の成果	計画どおり又は計画以上の成果が得られた	概ね計画どおりの成果が得られた	計画どおりの成果が得られなかった

⑥外部評価

教育委員会での点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方からいただいた評価及び意見・助言などを記載しています。

（３）総合評価の状況

亀岡市教育委員会の実施事業については、順調に展開されており、目標事業の進捗率も高く良い状況であると感じた。

予算（特に学校教育面）の更なる確保に努め、学校長等からの提言や要望を精査する中で、必要に応じて実施すればよいと考える。

7　数値目標事業の進捗状況

目標項目	活動指標	目標年次 目　　標	目標設定時 実　　績	平成 28 年度末 実績数値 （現状値）	進捗率	
《目標1》 「生きる力」の育成	京都府学力診断テスト	H28 府内平均点を上回る		小学校4年、中学校1年・2年のうち中2の英語は、府平均点を上回った。		
	不登校児童生徒の割合（出現率）	H28 減少	小学校 （H20～23平均） 0．36％(20 人) 中学校 （H20～23平均） 2．10％(57 人)	小学校 0．72％(35 人) 中学校 3．36％(85 人)		
《目標2》 ふるさとを愛する心の育成	地域の自然や歴史に関心のある児童生徒の割合	H28 増加	H24（小学校4年） 59％ H24(中学校2年) 35％	H28（小学校4年） 66．0％ H28(中学校2年) 34．0％		
	体験学習に参加した児童生徒の割合	H28 100％	H23(小学校4年) 98．3％ H23(中学校2年) 97．9％	H28(小学校4年) 99．74％ H28(中学校2年) 99．52％		
《目標3》 学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進	教職員研修講座参加者数	H28 1，800人	H24 1，539人	H28 1，991人	110.6%	
	教職員研修講座数	H28 50講座	H24 46講座	H28 52講座	104.0%	
《目標4》 安全・安心で充実した教育環境の整備	小中学校施設の耐震化率	H27 100％	H23 90．2％	H28 100．0％	100%	H27 100％到達
	学校図書館図書標準冊数達成率	H28 増加	H23 73．0％	H28 88．0％		
《目標5》 生涯学習活動の推進	市民一人当たり年間図書貸出冊数	H28 5．3冊	H23 4．8冊	H28 4．5冊	84.9%	
	各種スポーツ大会・教室参加者数	H28 13，500人	H24 12，269人	H28 （14，267人）	（105.7％）	平成26年度からスポーツ推進課に所管替え
《目標6》 歴史・文化・自然の保存継承と発信	新資料館構想の策定	27年度までに策定		新資料館構想の策定	100%	
	文化資料館利用者数	H28 年間1万人	H23 年間　6，018人	H28 年間　5，478人	54.8%	

８　施策別評価

目標1 「生きる力」の育成

推進施策	(3)健康教育・安全教育の充実	所管課	学校教育課
目指す姿 目　　的	学校や家庭、地域社会の生活を通じて、基本的な知識の習得や理解を図るとともに、自他の健康や安全を意識し、実践する力を育成する。		

実施事業の内容	① 計画的な保健指導と安全指導の充実・推進 ・熱中症やインフルエンザ等の保健分野の指導や点検を計画的に行った。 ・教育委員会と各学校の安全担当者が連携し、避難訓練や校内安全点検等様々な機会をとおして安全に対する指導を行った。 ② 食に関する指導の充実 ・教育委員会、学校給食センターと学校が連携し、栄養教諭を中心に各学年単位で全国学校給食週間の取り組みをはじめ、発達段階に応じた栄養の話など食に関する指導を計画的に実施した。 ③ フッ化物洗口によるむし歯予防事業（幼稚園・小学校）の推進 ・小学校　実施率97．1％　DMF指数（1年生1人平均虫歯数）0．02 ・幼稚園　実施率97．6％ ④ 喫煙・薬物乱用防止教育及び性教育の推進 ・各小中学校で、指導方法を工夫した取り組みと併せて、パンフレットの配布やポスター掲示等により、喫煙及び薬物乱用防止の取り組みを進めた。 ・亀岡警察署のスクールサポーターなどと連携して、児童生徒、教職員、保護者等を対象とした薬物乱用防止教室等を全小・中学校で開催した。 ・学校の年間指導計画に基づき、児童生徒の性教育を行った。 ⑤児童生徒の健康診断の実施 ・各学校の年度計画に基づき児童生徒の健康診断を実施した。 ⑥健康・予防教育の推進 ・京都府がん対策推進計画に基づき、がんに関する正しい理解の普及やがん患者に対する偏見をなくすため、がんの病態や予防等に関する教育・普及啓発に取り組むこととし、小学校において「生命のがん教育授業」を実施した。　　小学校3校
成　　果	・平成8年から小学校で実施しているフッ化物洗口の取り組みを、平成23年1月から市立幼稚園の年長児においても実施しており、小学1年生のDMF指数が0．1（平成22年度）から0．02（平成28年度）に改善された。 ・薬物乱用防止教室や非行防止教室及び性教育については、各学校の年間指導計画に基づく継続した取り組みにより自分の体を大切にする意識が定着し、問題行動が減少してきた。 ・各学校の食に関する指導計画に基づき、学校給食センターの栄養教諭と学校が連携した様々な取り組みにより、日常の食生活に気づいて、朝食を食べ、苦手なものを考えて食べるなど、児童の望ましい食習慣が身についてきた。 ・健康診断による疾患等の早期発見により、児童生徒の健康が確保できた。 ・健康的な生活習慣を身につけるとともに、命の大切さや生きることの素晴らしさに気づき、他者の命を尊重するこころを育むことができた。

点検項目	視点	理　　由
必 要 性	☑高い □やや高い □低い	自他の身体・生命等を守ることは最優先事項であり、現代社会の中で安全に関する情報を的確に判断し、危険予測・危険回避能力が強く求められている。
有 効 性	☑高い □やや高い □低い	関係機関とも連携する中で、計画的な保健指導や安全指導をはじめ、食に関する指導、生活習慣の育成、喫煙・薬物乱用防止教育、健康診断等の実施により、児童生徒等の健康や安全が確保できた。
効 率 性	□高い ☑やや高い □低い	関係機関等との連携により、効果的な資料による指導や教育が実施できる。また、計画的な実施により短期間で取り組むことができる。

課　　題	・保健指導、安全指導は学校と家庭の連携及び協力が必要である。 ・喫煙や薬物乱用防止教育及び性教育については、学校・家庭・地域が連携する中で指導を継続していく必要がある。 ・健康教育の今日的な課題に対応できるように、中学校における学校保健委員会を更に充実する必要がある。 ・健康診断の結果、治療を要する児童生徒が、経済面等から受診を敬遠しないよう就学援助制度等を周知しているが、更に制度の周知を図り、受診を進める必要がある。

改 善 策	学校や家庭、地域社会の生活を通じて、自他の健康や安全を意識し、実践する力を育成するため、薬物乱用防止教育をはじめとする各種安全・健康教育を継続して取り組めるよう指導していくとともに、啓発パンフレット等を配布するなど働きかけを行い、学校・家庭・地域及び関係機関と連携を更に強化し、指導を継続する。

	評価結果	説　　明
内部評価	A	事業の計画的実施により、基本的な知識の習得や理解を図るとともに、自他の健康や安全を意識し、実践する力を育成することができた。
	(前回評価結果)	
	A	
今後の方向性		□充実・強化　☑維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

	評価結果	委　員　意　見
外部評価	A	・より具体的な事や行動を示すべきである。 ・安全点検は、子どもの目線からも行うことが大切。虫歯予防は、成果が大きく素晴らしい。 ・家庭の経済的な面(低所得層)等についてのアプローチが十分になされている。

推進施策	(6) 人権教育の推進	所管課	学校教育課・教育研究所
目指す姿 目　　的	子どもたちの発達段階を踏まえ、知的理解、人権感覚及び実践・行動力を育成する取り組みを行い、人権が尊重される学校づくりを進める。		

実施事業の内容	① 児童生徒の基礎学力充実と進路保障及び主体的に進路選択できる力の育成 ・基礎・基本の徹底による学力の向上を図るため、各校において基礎学力充実推進事業や基礎学力充実の取り組みの実施等、それぞれの学校の実情に応じた取り組みを進めた。 小中学校9年間で系統的に主体的に進路選択できる力の育成を図った。また、中学校においては、希望に応じた進路選択が行えるよう指導に努めた。 ② 教育活動全体を通した計画的な人権教育の推進 ・各学校の人権学習年間指導計画に基づき、基本的人権をはじめ、様々な人権問題に対する正しい理解と認識の向上が図られる授業を展開した。 ・児童生徒の人権意識や人権感覚を高めるため、人権強調月間等において、人権標語やポスターの作成等多様な取り組みを実施した。 ③ 人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の充実 ・すべての教育活動に人権教育の視点で推進し、主体的な学習活動が展開されるよう、体験学習の中で障害者や高齢者とのふれあいや交流を取り入れ、児童生徒の理解を深めた。 ・いじめ防止に対する意識を高め、共有することにより、いじめ防止に向けた取り組みを活性化するため、小・中学校の児童生徒を対象に、いじめ防止フォーラムを開催した。 ④ 日常的・継続的な家庭・地域社会、関係機関及び校種間連携の推進 ・教育研究所において、校種間連携で取り組む人権教育の進め方の講座を実施した。
成　　果	・児童生徒が、福祉体験や職場体験学習における人とのふれあいや交流をとおして、人の立場に立って考えることや理解することの大切さを実感することができた。 ・人権の大切さを体感する機会として人権強調月間等を中心とした多様な取り組みにより、人権について改めて考える機会づくりとなった。 ・京都府学力診断テスト質問紙調査の結果、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の割合が、平成27年度から平成28年度にかけて、小学校4年生が92%から95%と3%上昇し、中学校1年生が95%から97%と2%上昇した。

点検項目	視点	理　　由
必 要 性	☑高い □やや高い □低い	社会における人権尊重の意識や態度育成は、日本のみならず世界的にも希求されている。
有 効 性	☑高い □やや高い □低い	子どもたちの知的理解、人権感覚及び実践・行動力の育成は、関係機関や校種間連携を含めた系統的・継続的な人権教育等により育まれる。
効 率 性	□高い ☑やや高い □低い	継続して様々な事業を実施することで、人権感覚や実践・行動力の育成が図られている。
課　　題	・学校、家庭、地域等が一体となって、豊かな人間性や人権意識を高めるための人権教育の取り組みを、今後も継続していく必要がある。 ・「自分の大切さとともに他人の大切さを認めることができる」ことを実践化できるように、言葉かけやあいさつなど日常における人との関わりを大切にすることを、継続して取り組んでいく必要がある。	

改 善 策	子どもたちの発達段階を踏まえた様々な取り組みを行い、人権が尊重される学校づくりを進めるため、今後とも、学校、家庭、地域等に働きかけ、一体となった人権教育の取り組みを継続する。

内部評価	評価結果	説　　明
	A （前回評価結果） B	発達段階に応じた取り組みをおおむね計画通り行い、児童生徒が人の立場に立って考えることや理解することの大切さを実感することができ、人権が尊重される学校づくりを進めることができた。
今後の方向性		□充実・強化　☑維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

外部評価	評価結果	委　員　意　見
	A	・府学力診断テストの結果等も踏まえ、今後の継続の重要性を感じる。 ・教育の目標に照らし最も重要な課題であり、一層の充実を期待する。感性を磨くとともに、高める教材・授業をして欲しい。 ・人権教育に真摯に取り組めており、今後も継続して、弱者について市民・学校教育での取り組みが継続的に行われることを望む。

目標2　ふるさとを愛する心の育成

推進施策	(1) 体験的活動の推進	所管課	学校教育課・教育研究所
目指す姿 目　　的	ふるさとへの愛着や誇りを育むため亀岡の歴史・文化・自然などを通したふるさと学習を推進する。また、キャリア教育の視点を踏まえ、社会見学や社会体験、職場体験活動などの活動を通じ、働くことの大切さや重要性、望ましい職業観や勤労観を育む。		

実施事業の内容	① KYO発見　仕事文化体験活動推進事業などによる学習活動の充実 ・児童生徒が自分らしく生きる力をつけるために、京都府の「KYO発見　仕事・文化体験活動推進事業」を活用し、小学校は4年生を中心に、中学校は2年生を対象に体験活動を実施した。 ②地球環境子ども村、NPO等と連携した 環境学習・体験学習の推進 ・専門的な知識や貴重な経験を有するゲストティーチャーを招いた学習や学校支援ボランティア等による活動を進めた。 ③ 児童生徒によるボランティア活動の推進 ・8中学校の生徒会を中心とした五円玉募金、ペットボトルキャップ集め、ギンナンの実の採集・加工・販売による被災地支援等、児童生徒による積極的なボランティア活動が展開された。 ④ 亀岡の地域資源を活用したふるさと学習「かめおか学」の推進 ・ふるさと亀岡への愛着や誇りを育むために、亀岡の歴史・文化・自然等を通したふるさと学習を小中学校9年間を通して推進した。 ⑤ 地域ふれあいサイエンスフェスタの充実 ・科学や環境、ものづくりをテーマに、地元企業・高校・大学等が提供する最新の科学技術に触れ、体験する地域ふれあいサイエンスフェスタ2016を開催した。
成　　果	・福祉体験や職場体験をとおして児童生徒に様々な知識や技能、社会の一員としての規範意識やコミュニケーション能力等を高めることができた。 参加者　小学校:4年生他　774人　中学校:2年生　824人 ・すべての小中学校において、各校の実態に応じた表現力の育成等に関する研究テーマを設定する等、創意工夫を活かした特色ある学校づくりに取り組むことで、表現力が高まった。 ・ギンナンの活動をきっかけに、学校関係の緑化活動の輪がPTA・地域へと広がっていることが評価され、東輝中学校の「全日本学校関係緑化コンクール、学校環境緑化の部・特選（文部科学大臣賞）」の受賞が決定した。 ・ふるさと学習を推進し、児童生徒が地域理解を深める一助とすることができた。 ・地域ふれあいサイエンスフェスタ2016をとおして、サイエンスの不思議さや奥深さを味わう場を提供できた。また地元企業の出展によって、児童生徒の地域にある企業への将来展望に情報を提供する機会となった。　64ブース　2ステージ　来場者　約4，500人（企業は20団体）

点検項目	視点	理　　由
必 要 性	☑高い □やや高い □低い	コミュニケーション能力の育成や働くことの大切さや重要性の認識。また、望ましい職業観や勤労観の育成は、今日的な課題であり、不可欠である。
有 効 性	☑高い □やや高い □低い	将来の職業選択時に役立っている。
効 率 性	☑高い □やや高い □低い	府の補助制度を活用した体験活動の実施や、地域資源を題材としたふるさと学習など効率的な取り組みが実施できている。
課　　題	・各小中学校の体験活動事業は、それぞれの事務事業の現場が体感できる貴重な機会であり、継続して実施する必要がある。 ・ふるさと亀岡への愛着や誇りを育むために、ふるさと学習を小中学校9年間を通した取り組みとして、市内の全小中学校で継続する必要がある。 ・地域ふれあいサイエンスフェスタについては、子どもたちの興味・関心をより高められるよう、内容の充実を検討していく必要がある。	

<table>
<tr><td colspan="2">改 善 策</td><td>・各小中学校において体験活動事業に取り組む意義を丁寧に指導する。
・市内の全小中学校において、ふるさと学習についての情報共有を図り、小中学校9年間を通した取り組みを継続する。
・地域ふれあいサイエンスフェスタへの内容について、子どもたちの興味関心を高める取組を検討していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">内部評価</td><td>評価結果</td><td>説　　明</td></tr>
<tr><td>A</td><td rowspan="3">ふるさとへの愛着や誇りを育むため亀岡の歴史・文化・自然などを通したふるさと学習を推進できた。また、社会見学や社会体験、職場体験活動などの活動を通じ、働くことの大切さや重要性、望ましい職業観や勤労観を育むことができた。</td></tr>
<tr><td>（前回評価結果）</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="2">今後の方向性</td><td>☐充実・強化　☑維持・継続　☐改善・見直し　☐廃止・終了</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">外部評価</td><td>評価結果</td><td>委　員　意　見</td></tr>
<tr><td>A</td><td>・先人たちが、いかに国民のこと、豊かな国を目指したか、亀岡の偉人伝紹介等も取り入れて欲しい。
・ふるさとに愛着と誇りを持てる子どもは、自己肯定感も高められると思う。
・学校教育が机上のみに終わらず、地域・社会に目を向けた深い学びとなるよう、体験学習は重要であると考える。今後も、「オールかめおか」というような取り組みとして、地域の学びの場づくりが推進され、協力団体のネットワークを広げていくことが重要と考える。</td></tr>
</table>

目標3　学校の教育力の向上と魅力ある学校づくりの推進

推進施策	(1)小中一貫教育の推進	所管課	学校教育課
目指す姿 目　　的	義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導を行い、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を図り確かな学力を育成する。		

実施事業の内容	①施設一体型及び地域連携型小中一貫教育の推進 ・施設一体型小中一貫教育から義務教育学校への移行にあたり、指導主事が学校訪問し連携調整を行うなど移行の推進を図った。 ・義務教育学校移行に必要な事務手続きを進めた。 ・地域連携型小中一貫教育の各ブロック毎に、その地域の特性等に合わせた教職員・児童対象の取組を実施した。 ・授業の公開・交流、生徒指導連絡会、中学校教諭による小学校高学年への乗り入れ授業などを実施し、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導の推進等を図った。
成　　果	・川東小学校・高田中学校について、義務教育学校へとスムーズに移行する準備ができた。 ・特色ある教育活動について共通認識を図ることができ、焦点化した準備ができるようになった。

点検項目	視点	理　　由
必要性	☑高い □やや高い □低い	児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を図る中で、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導は必要である。
有効性	☑高い □やや高い □低い	義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導を行うことで、学力の向上が見込まれる。
効率性	□高い ☑やや高い □低い	地域連携型の小中一貫教育の推進に向け、各中学校ブロック単位で進められている。
課　　題	・各ブロック内での取組について、統一化を図る必要がある。 ・全教科9年間のカリキュラム編成に向け、小中教職員の連携が必要である。 ・亀岡川東学園のノウハウを市内全域に広げていく必要性がある。	

改善策	・ブロック内の連携を深めるとともに、ブロック間の情報共有化を図ることを検討する。 ・小中教職員の連携を図れるような体制を整備する。 ・教職員の意識改革を図る。

内部評価	評価結果	説　　明
	A	施設一体型小中一貫校から義務教育学校へと移行する準備ができた。また児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を図り確かな学力を育成するために、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導が行えた。
	(前回評価結果)	
	A	
今後の方向性		□充実・強化　☑維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

	評価結果	委　　員　　意　　見
外部評価	A	・亀岡川東学園が他地区への良いモデルとなるよう、取り組んで欲しい。 ・小中一貫校の強みを広げていくべきである。 ・小中学校の垣根を低くし、義務教育9年間を見通した指導を行う小中一貫教育としての、川東学園の取り組みがスタートし、教育内容も精選されて来たことは素晴らしい成果である。今後も先進校として、モデルとなっていくことを期待する。

推進施策	(4)教育研究所事業の充実	所管課	教育研究所
目指す姿 目　的	学校支援センターとしての機能を充実させ、「ともに学び、ともに育ち、ともに生きる」亀岡教育の創造と目指すべき子ども像「ほっかほか心　ふるさと大好き　かめおかっ子」の趣旨を踏まえ亀岡市の教育課題を的確に捉え効果的な研修及び調査研究事業等を推進し、保育所幼稚園、小中学校の子育て、教育活動を支援する。		

実施事業の内容	①学力向上に向けての具体的な方途の開発・発信 ・亀岡市の学校不適応事例における実態を把握し、事例研究を通して児童生徒の学校不適応状況改善に向けての実践研究を行い、アセスメント票等を活用した支援のあり方を検討した。 ②適応指導教室、心の居場所事業の充実 ・平成28年度通所者　やまびこ教室　ふれ愛教室　開室　　125日 ③教育課題に対応した教職員研修講座の充実 ・学校支援センターとしての機能を充実させ、実態に即した教育課題を適時適切にとらえた効果的な研修や調査研究を実施した。 ④保護者や教職員等への教育相談事業の充実 ・児童生徒・保護者に緊張や不安を感じることなく利用できる空間的・心理的立地条件を生かし、教育相談員及び臨床心理士が専門的な立場で助言や援助を行った。 ⑤特別支援教育・教育相談など学校現場のニーズに対応する研修の充実 ・小中学校間の系統的な言語力の育成にかかる視点や、小中学校間をつなぐ指導計画立案の必要性等、児童生徒の発達段階に即した指導計画の重要性を学ぶ研修を実施した。 ⑥幼児・児童生徒の学習活動支援及び保幼小中連携の推進 ・幼児・児童・生徒の育ちや学びの連続性に着目した校種間、研究組織間の接続と連携を図る研修を実施した。 ⑦今日的な教育課題に応じる調査研究活動の推進 ・専門的な教科、領域別の研修など各学校の課題に応じた研修を実施した。
成　果	・次代の亀岡市の教育を担う教職員の資質と指導力量の向上、教育財産の継承を中心に据えた人材育成や職務遂行能力の向上を図る研修を実施した。 ・実施講座　５２講座　　参加者数　１，９９１人 ・適応指導教室 やまびこ教室（小学生）３名通級　１名学校復帰１名進学　１名途中退室 ふれ愛教室（中学生）１０名通級　うち３年生５名高等学校へ進学 ・幼稚園、小中学校等の教育活動を支援することができた。 ・相談事業　４２０件の相談を受けた。

点検項目	視点	理　　由
必 要 性	☑高い □やや高い □低い	学校支援センターとしての教育研究所の果たす役割は大きく、必要性は高い。
有 効 性	☑高い □やや高い □低い	空間的、心理的な要件が学校不適応児童生徒の居場所として適している立地条件にある。
効 率 性	□高い ☑やや高い □低い	教育の費用対効果は直ちに出ないが、教職員の資質向上は不可欠である。また学校不適応については時間をかけて順応できるよう進める必要がある。
課　　題	・「義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保等に関する法律」に基き、適応指導教室の充実・教育相談体制の強化はもとより、教職員の資質向上や、専門分野に特化した研修の導入を検討する必要がある。 ・保幼小中連携教育の研究実践においてさらなる充実と各研究団体とつなぐ、研究所の連携機能を発揮する必要がある。 ・学校不適応児童生徒の在籍校との連携をさらに深める。	

改 善 策	・学校不適応児童生徒の在籍校と情報を共有し的確な支援体制づくりを進めていく。 ・学校復帰に向けて、学校・家庭・関係機関と連携し支援方法を共有化する。 ・小中学校の各教育研究会との連携をより密にしていく。	

		説　　明
内部評価	A (前回評価結果) A	上記のとおり計画どおりの成果が得られた。
今後の方向性		☑充実・強化　□維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

	評価結果	委　員　意　見
外部評価	A	・福祉関係との連携をさらに深くして充実を図って欲しい。 ・適応指導教室は、在籍校との連携を深め、復帰を促すことを大切にして欲しい。 ・昨今は家庭環境等が複雑化し、経済的・心理的にも困難を抱える子どもが増加しているが、そのような子どもに対し、対応できる体制づくりがされ、すべての子どもが人権を守られて、高等教育を受け、善良な市民を育てる環境整備が必要と考える。

目標4　安全・安心で充実した教育環境の整備

推進施策	(3)学校図書、学習教材・資機材の充実	所管課	教育総務課
目指す姿 目　　的	学校図書館の標準冊数の達成に向けた蔵書数の充実と学校図書館の環境整備を計画的に推進する。 子どもたち一人ひとりの学ぶ意欲や関心を向上させるため、学習教材の充実をはじめとする時代に順応した教育用資機材の充実を図る。		

実施事業の内容	① 学校図書館図書蔵書数の標準冊数達成に向けた蔵書数の充実 ・蔵書整備率の低い学校の底上げを考慮しつつ、学校規模に応じた予算配分を行い、各学校で希望　図書を整備した。 小・中学校蔵書冊数:H27蔵書182，157冊－H28減1,572冊　＋H28増8,270冊 ＝H28蔵書188，855冊 ② 理科・数学の学習教材・資機材の充実 ・国の理科教育設備費等補助金を活用し、理科実験用備品等の整備に努めた。 品目数:小学校(112品目　198品)、中学校(39品目　84品) ③ 教育の情報化に向けた学習資機材の充実 ・小学校では、パソコン教室に1人1台のPCのほか、各校10台のタブレット端末と全普通教室に電子黒板機能付きプロジェクタ、書画カメラを整備しており、それらを活用した授業を行った。 ・中学校と義務教育学校では、小学校の整備に加えて、普通教室や特別教室でデジタル教科書が配備されており、それらを活用した授業を行った。
成　　果	・新刊本の整備により、本への関心を高め、読書により児童生徒が言葉をとおして想像力を育くみ、思考能力を高めることにつながった。 ※平成28年度末の標準冊数に対する整備率 小学校　92．9%　中学校　80．0%　全体　88．0% ・新学習指導要領に対応した理科実験用備品を計画的に整備することで、理科実験において器具等に触れる機会が増え、理科学習への興味・関心・意欲の増大につながった。 ・ICT機器を活用した授業は、子どもたちの興味や関心を引き出すことができ、デジタル教科書では資料写真だけではなく、動画等も見ることができ理解しやすくなった。

点検項目	視点	理　　由
必 要 性	☑高い □やや高い □低い	子どもたちの興味・関心を高め、分かりやすく主体的な学習を促すために必要である
有 効 性	☑高い □やや高い □低い	新刊本を整備することにより、本への関心が高まり、読書をとおして想像力を育くみ、思考能力を高めることにつながった。
効 率 性	☑高い □やや高い □低い	学校図書館図書の更新が行えた。
課　　題	学校図書蔵書の整備率を向上するためには、経年劣化による廃棄等を考慮し、それを上回る整備を今後も引き続き行う必要がある。	

改 善 策	経年劣化した本の廃棄を進めるとともに、子どもたちの興味がわく図書を選定することで、読書活動の活発化を図る。

	評価結果	説　　明
内部評価	A （前回評価結果） A	学校図書館図書や理科実験用備品等の整備が計画的に行えた。
今後の方向性		□充実・強化　☑維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

	評価結果	委　員　意　見
外部評価	A	・読書意欲の向上を、より具体的にどのように取り組むかが大事である。 ・冊数目標だけでなく新刊図書など内容も大切である。また市図書館との連携等工夫のこと。 ・積極的に国費の補助を利用し、理科教育環境の整備をされており、高く評価できる。図書教育についても、平成29年度から司書3人が、各学校を巡回して読書への興味を高めるアプローチをしたり、亀岡市の図書館の蔵書を増やし、ニーズ・ウォンツに対応するなど、効率的に環境整備がされること等今後にも期待したい。

目標5　生涯学習活動の推進

推進施策	(1)人権教育・人権学習の推進	所管課	社会教育課
目指す姿 目　　的	「誰もが互いを尊重し、認め合いながら、いつまでも幸せに住み続けられる人権と平和が根づくまちづくり」をめざすため、人権教育を推進し、人権学習を支援する学習機会の提供等を図る。		

実施事業の内容	①多様な学習内容・機会の提供 ・市民等への人権に関する学習機会を提供した。 人権教育講座　5回開催　参加総数　466人 人権問題学習講座　4回開催　参加総数　53人 第３４回亀岡市女性集会（記念講演・5分科会）　参加者数　656人 ワークショップで学ぶ人権セミナー　3回開催　参加総数　147人 ・人権教育活動のための指導者の資質向上を図った。 人権教育指導者研修会　3回開催　参加総数　291人 女性リーダー視察研修　1回開催　参加総数　18人 ②自主的な人権学習活動への支援 ・人権啓発推進協議会等への支援を行った。　（補助金の交付等）　7地区 ・人権教育啓発指導員を研修会へ派遣した。　52回　延べ 受講者数 2,056人 ・人権啓発ビデオを貸出した。　113本
成　果	・個別人権課題に関する取り組みとして、高齢者・子ども・女性・同和問題・障害者などの人権課題に関する講座を開催し、今日的な人権問題に関わり、市民に学習機会を提供することができた。 ・女性集会のアンケート調査では、「家庭・地域・職場などでの人権問題の解決に向けての行動」について、自分の一歩を「ふみ出している」「ふみ出したい」が67.3%、「ふみ出せそう」を加えると86.0%であり、今後の実践につながる集会とすることができた。 ・人権教育啓発指導員を派遣した各団体等が行う人権研修会等のアンケート結果では、人権に対する認識が「深まった」38.8%、「少し深まった」を加えると88.8%であり、人権意識の高揚を図ることができた。

点検項目	視点	理　　由
必要性	☑高い □やや高い □低い	「平和と人権の根づくまち」を実現するためには、市民の一人一人が人権尊重の理念を正しく理解することが重要であり、人権尊重の理解を深めるための本事業の必要性は高い。
有効性	☑高い □やや高い □低い	「人権という普遍的な文化」を構築するためには、継続的な取り組みや地道な積み重ねが市民の人権意識の高揚に貢献している。
効率性	□高い ☑やや高い □低い	講座や研修会には、多くの参加があり、また参加者のアンケート結果等からも、目的に見合った成果が得られている。
課　題	・ヘイトスピーチやインターネットによる人権侵害等、多様化・複雑化する人権問題について、その実態、原因について正しく把握・理解するとともに、あらゆる機会をとおして人権尊重についての理解と認識を深め、自他の人権を守る実践的な態度が培われるよう人権教育を推進していく必要がある。 ・より多くの市民に参加いただくためには、身近な人権課題をテーマに設定することや効果的手法を採用するなど、多様な人権教育活動の展開が必要である。	

改善策	人権教育の手法については、法の下の平等、個人の尊重といった普遍的な視点からのアプローチと、具体的な人権問題に即した個別的な視点からのアプローチを組み合わせ、親しみやすいテーマや分かりやすい表現を用いるなど創意工夫をこらした学習機会の提供、またワークショップ形式やワールドカフェ形式等の手法を採用した主体的な学びの場の提供に努める。

<table>
<tr><td rowspan="3">内部評価</td><td>評価結果</td><td>説　　明</td></tr>
<tr><td>A</td><td rowspan="2">様々な人権課題がある中で、社会情勢を的確に捉えたタイムリーで幅広い分野の学習機会を提供することができた。</td></tr>
<tr><td>（前回評価結果）
A</td></tr>
<tr><td colspan="2">今後の方向性</td><td>☑充実・強化　□維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">外部評価</td><td>評価結果</td><td>委　員　意　見</td></tr>
<tr><td>A</td><td>・ガレリアかめおか等で開催される大きな研修だけでなく、地域（自治会等）でも開催できれば更に効果的だと考える。
・地域と共催するなど、実施形態の更なる工夫を検討して欲しい。
・今日、人権教育は非常に重要な地域課題と捉えられる。さらに、人権を中心にした地域課題の抽出・発見・解決へと、地域全体で取り組み、地域力を高めていくことが必要である。</td></tr>
</table>

推進施策	(4) 市民の学習活動の推進	所管課	社会教育課
目指す姿 目　　的	子どもから高齢者まで学習機会の提供を図り、生涯にわたって健康で、文化的な生活を営むことのできる地域社会の実現を図る。		

実施事業の内容	① 高齢者さわやか教室の充実 ・「安全・安心・心豊かな暮らしをめざして」をテーマに、65歳以上の市民を対象に年間7講座を開催し、様々な分野からの学習機会を提供した。 ② 生涯学習関係機関・団体との連携による学習機会や学習情報の提供 ・社会教育関連事業及び文化財保護関連事業について、名義使用及び広報(キラリ☆亀岡おしらせへの掲載・学校へのチラシ配布等)の協力をした。 ・視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者を対象とした3学級を開催した。 ③公民館サークル活動への支援 ・第37回公民館サークルまつりを支援した。
成　果	・高齢者さわやか教室では、延受講者数2,036人、1講座当たりの平均受講者数は約290人であった。アンケート結果から約70％の受講者は各講座に得るものがあったと回答しており、次年度を楽しみにしているとの声が多くあった。 ・社会教育関連事業69件、文化財保護関連事業4件の計73件の事業を後援、支援し、市民に学習機会の提供を図った。 ・障害者成人学級を年間77講座開催し、学習や社会交流の場を提供することができた。

点検項目	視点	理　　由
必要性	☑高い □やや高い □低い	生涯にわたって健康で文化的な生活を営むためには、各種活動の支援や学習機会の提供を充実する必要がある。
有効性	☑高い □やや高い □低い	高齢者さわやか教室では、対象者のニーズに合わせて様々な分野の学習を受講できるため、満足度が高い事業となっている。
効率性	□高い ☑やや高い □低い	高齢者さわやか教室は、運営委員会方式で効率的な事業実施となっている。
課　題	・高齢者さわやか教室の登録受講者数は増加したが、延べ受講者数及び年間5講座以上の受講者数が少し減少した。 ・教育委員会の名義後援、広報により、市民（子ども）の学習・体験機会の情報提供をすることができるが、学校（児童・生徒）を利用した広報については、学校負担になることもある。	

改善策	・高齢者さわやか教室受講者のニーズを知り内容を充実させると共に、教室への参加が日々の励みとなるよう継続的な参加を呼び掛ける。 ・教育委員会の名義後援及び広報協力については、基準を定める等の方法により、学校負担にならないよう、また、必要な情報が届くように考慮する必要がある。

内部評価	評価結果	説　　明
	A （前回評価結果） A	高齢者さわやか教室や障害者を対象とした学習機会の提供、また生涯学習や社会教育団体の活動支援を行うことにより、生涯にわたって健康で文化的な生活を営むための支援を図ることができた。
今後の方向性		□充実・強化　☑維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

外部評価	評価結果	委　員　意　見
	A	・市内全域から参加者があり、有効な事業だと思う。ニーズを知り、一層の内容充実を図り、参加者増につなげて欲しい。 ・会場や広報・交通機関など、参加しやすい工夫も必要と考える。 ・各地域で高齢化率が徐々に高まる中、様々な外出機会、社会参加の場づくりが求められると考える。タイミングよく広報されており、高く評価できる。 元気な高齢者の力を活用し、ますます文化度が高められるよう、環境整備と人材活用が望まれる。

目標6　歴史・文化・自然の保存継承と発信

推進施策	(1) 文化財の保存と活用	所管課	社会教育課
目指す姿 目　　的	貴重な歴史資料や先人の知恵に学び、文化財を保存継承し、観光をはじめとする地域活性化への活用を積極的に図り、市民とともに新たな文化の創造と地域づくり、まちづくりにつなげる。		

実施事業の内容	①史跡丹波国分寺跡史跡公園整備の推進 ・史跡丹波国分寺跡検討委員会を開催した。 ・保存活用のために既公有地において、基盤造成工事を行った。 ・史跡の未指定地の追加指定申請を行った。 ・史跡丹波国分寺跡整備事業啓発パンフレットを作成した。 ②歴史的・文化的景観の保全と活用の推進 ・保津川歴史講座を開催した（全2回）。 ・「保津川・嵐山」をテーマとして日本遺産認定の申請を行ったが、不採択であった。 ・保津川関連の「保津川船下り操船技術」や「舟筏無難銘石灯籠」、「金刀比羅神社奉納船」を亀岡市文化財に指定するため、亀岡市文化財保護委員会に諮問した。答申を基に、平成29年4月26日に指定を行った。
成　果	・史跡丹波国分寺跡のうち既公有地については、史跡公園整備として基盤造成工事を進め、保存活用を図ることができた。 ・保津川歴史講座（全2回）は延べ132人が参加し、保津川の魅力を発信できた。 ・保津川関連を亀岡市文化財として指定したことにより、保津川は景色や急流だけでなく、船頭の技術をはじめ、都の造営などを支えてきた水運の価値を再確認することができた。

点検項目	視点	理　　由
必要性	☑高い □やや高い □低い	地域の誇りとしての史跡丹波国分寺跡をはじめとした歴史的文化遺産を次世代へと継承していく必要がある。
有効性	☑高い □やや高い □低い	にぎわいの生まれる史跡公園として整備することにより、それを核に川東地区のまちづくりの推進につながる。
効率性	□高い ☑やや高い □低い	現在の整備計画の見直しや検討を行い、短期・中期計画を立てて継続した実施に努めていく。
課　題	・未公有地の用地取得経費に係る財源確保が必要である。 ・地域と協働し継続的な保存と活用が必要である。	

改善策	・未公有地の用地取得経費や、整備に係る財源については、他部局及び京都府とも検討していく。 ・史跡丹波国分寺跡や「保津川・嵐山」について、市民に向けて啓発を行い、地域に理解を得たうえで協働し、継続的な保存や活用を行う。	
内部評価	評価結果	説　　明
	A （前回評価結果） B	貴重な文化財を保存継承するため、計画的な整備推進や新たな文化財を指定したほか、日本遺産認定に向けて、関係機関との連携が図れ、次年度につなげることができた。
今後の方向性		☑充実・強化　□維持・継続　□改善・見直し　□廃止・終了

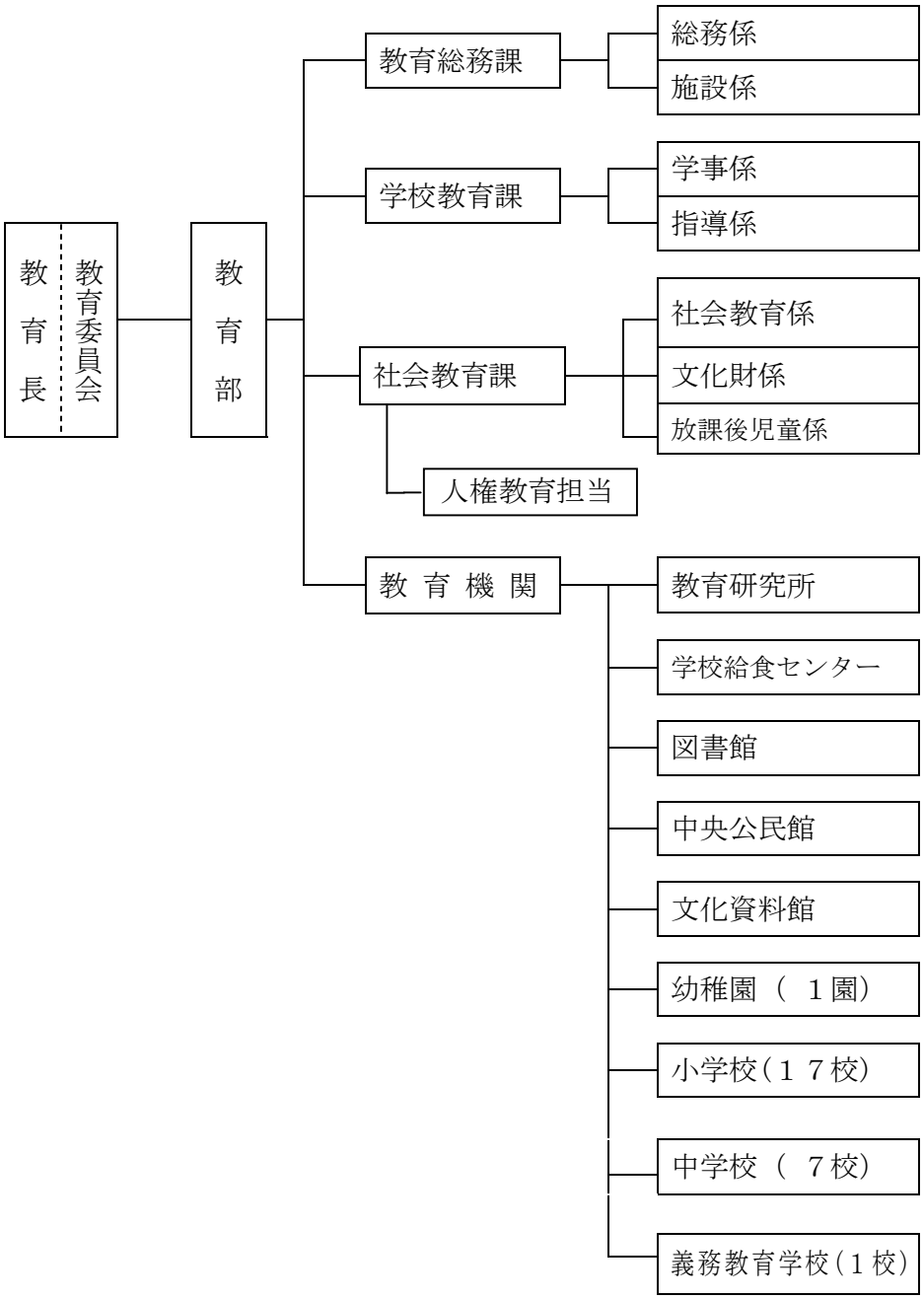
	評価結果	委　　員　　意　　見
外部評価	A	・日本遺産の認定に向けて更に取組を進め、是非、達成して欲しい。 ・国分寺跡については、地域の観光振興など、進入路を含め、長期・短期の計画を立てて進めるべきと考える。 ・亀岡市は人財・環境共に豊かで、宝の宝庫である。今の高齢者の持つ様々な知識・行動力・未来に向けた計画性など、亀岡市のトータルな魅力づくりを「オールかめおか」体制で創造していく努力は今後も必要である。5年、10年、50年先を見据えて、整備を進め、魅力的な町づくりを進めていただきたい。

資　　料

1　教育長及び教育委員会委員　　（平成２９年７月１日現在）

職　名	氏　名	教育委員の任期
教　育　長	田中　太郎	平成28年　4月　2日　～　平成31年　4月　1日
教育長職務代理者	関　　吉廣	平成27年　7月　1日　～　平成31年　6月30日
委　　員	吉岡眞知子	平成24年12月25日　～　平成31年　3月31日
委　　員	江口　昌道	平成26年　4月　1日　～　平成30年　3月31日
委　　員	若本　夏美	平成28年　4月　1日　～　平成32年　3月31日

2　教育委員会の組織　　（平成２９年４月１日現在）



３　公立学校施設

（１）小　学　校　　平成２９年５月１日現在（単位：人）

学　校　名	児童数
亀　岡　小　学　校	５４８
安　詳　小　学　校	９２３
東 別 院 小 学 校	２７
西 別 院 小 学 校	１９
曽 我 部 小 学 校	１６０
吉　川　小　学　校	５１
薗 田 野 小 学 校	８３
本　梅　小　学　校	５２
畑　野　小　学　校	５３
青　野　小　学　校	６３
大　井　小　学　校	４３１
千 代 川 小 学 校	５４６
保　津　小　学　校	４４
つつじケ丘小学校	７２５
城　西　小　学　校	３７５
詳　徳　小　学　校	２４４
南つつじケ丘小学校	３７３
計	４，７１７

（２）中　学　校　　平成２９年５月１日現在（単位：人）

学　校　名	生徒数
亀　岡　中　学　校	５５４
別　院　中　学　校	２２
南　桑　中　学　校	２６４
育　親　中　学　校	１０３
東　輝　中　学　校	６８１
大　成　中　学　校	３７０
詳　徳　中　学　校	３０５
計	２，２９９

（３）義務教育学校　　平成２９年５月１日現在（単位：人）

学　校　名		生徒数
亀岡川東学園	前期課程	１６０
	後期課程	９３
	計	２５３

（４）幼稚園　　平成２９年５月１日現在（単位：人）

幼　稚　園　名	園児数
亀 岡 市 立 幼 稚 園	１１０

亀岡市教育委員会事務の点検・評価の実施に関する要綱

平成２１年３月３１日
亀岡市教育委員会告示第２号

（趣旨）

第１条　この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和　３１年法律第１６２号。以下「法」という。）第２６条の規定に基づき、亀岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について、必要な事項を定めるものとする。

（点検・評価の対象）

第２条　点検・評価の対象は、前年度に実施した教育委員会が定める施策に関する事務、教育行政の推進上重要な課題に係るもの又は点検・評価を行うことが必要と認める事務のうち、教育委員会が選定したものとする。

（協議会）

第３条　点検・評価を行うため、教育委員会は、委員協議会（亀岡市教育委員会基本規則（昭和３１年教育委員会規則第１号）第３条の２に定める委員協議会をいう。（以下「協議会」という。）を開催し、審議する。

２　法第２６条第２項に定める学識経験者の知見を活用するため、当該協議会に外部の学識経験者（以下「外部有識者」という。）の出席を求める。

３　協議会は、教育委員会教育長が招集し、その議長となる。

４　教育委員会教育長が必要と認めるときは、委員及び外部有識者以外の者を協議会に出席させ、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

（報告書の作成及び公表）

第４条　教育委員会は、協議会の検討を踏まえ、点検・評価の結果に関する報告書を作成するものとする。

２　教育委員会は、前項の報告書を亀岡市議会に提出するとともに、公表を行う。

（庶務）

第５条　点検・評価の実施に関する庶務は、教育総務課において行う。

（その他）

第６条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長に委任する。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は、平成２７年４月１日から実施する。

（旧教育長に関する経過措置）

２　地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成２６年法律第７６号）附則第２条第１項に規定する旧教育長が、同項の規定により引き続き教育長として在職する間においては、なお従前の例による。

平成２９年度（平成２８年度対象）
亀岡市教育委員会点検・評価報告書

発行　　平成２９年９月
編集　　亀岡市教育委員会
〒621-8501
京都府亀岡市安町野々神８番地
ＴＥＬ　０７７１－２５－５０５２（直通）
ＦＡＸ　０７７１－２３－３１００
ＵＲＬ　http://www.city.kameoka.kyoto.jp（亀岡市ＨＰ）